

2017.10.8 恵庭岳：圧巻の錦秋、4 拍子揃った山旅

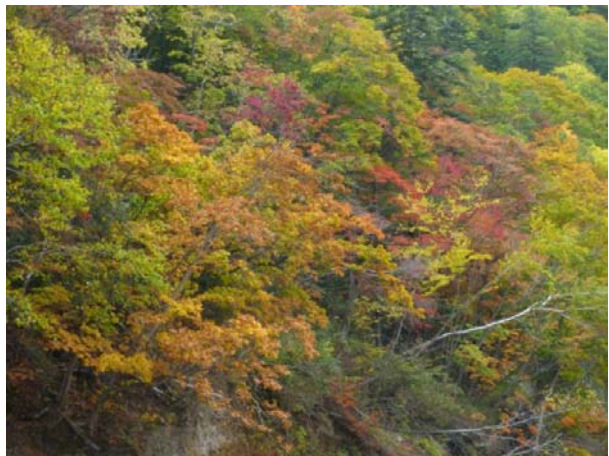
C L 藤木晴、S L 西田・渡邊、酒井・栗山・荒谷・藤木た・八重樫・門馬・小笠原・谷・鈴木・太田

天候：快晴/やや曇り、微風、気温：14～18℃

タイム：岡志別 6：00 発→登山開始 8：10→→6 合目 10：10→第一展望台 11：00→8 合目最高到達点 11：45
→昼食後出発 12：50→下山完了 14：50：：登り 3 時間 45 分、下り約 2 時間：標高差 900m

秋の 3 連休中日、恵庭岳山行は快晴・微風・暑くなく寒くなく絶好の登山日和となった。晴れ男 F リーダーの下に、奥様無事退院しホッした N 氏、病み上がりちょっぴりやつれた W 氏の両 SL と 10 名の会員が集結した。

8 時前すでに満車。数年前の台風で破壊され現在も工事中の登山口。涸れ沢、赤い柱の流木止め(?)が印象的だ。登り始めいきなり紅葉満開、秋色全開、足取りも軽い。その先の急斜面も見事な紅葉、キツイ登りも何のその、右左足元、どこを見ても絵になる。歩け歩け、どんどん高度が上がる男前な山である。そして若者が多い。MAMMUT や North Face を恰好よく着こなしグイグイ登るイケメンに見とれて活力をもらう。山ガールのコロコロ笑う声に聞き耳立てる。滑っても転んでも楽しそう、若いっていいなあ。



に疲れ吹き飛ばす。一休みしてさらに上へ、憧れのあの岩頭へ。今度はオコタンベ湖や漁岳が見える。突き当りの狭い岩場が本日の最高到達点。爆裂火口に地球の息吹を感じる。展望台に戻って昼食、日当たり良好、風弱く日差し暖かい。トンボやてんとう虫が陽だまりの中羽を休めていた。

下りはロープ場慎重に。そしてご褒美のような

核心部のロープ場では一同気を引き締める。落石に注意、ヘルメット着用し一人ずつ慎重に登る。無事に難所を通過し第一展望台着。左は爆裂火口、見上げると頂上岩頭、振り返ると眼下に支笏湖がどこまでも青く紋別岳イチャンコッペを見下ろす。北にはるか札幌の街がかすむ。錦のじゅうたんが広がる樹海、この時期だけの限定。登ってきてよかった～。想像以上の絶景



色彩の林を下る。目線の先すべてが紅葉。黄色、黄色、黄色、みどり、赤、黄色、オレンジ、、、一つとして同じ色はない。朝よりもいっそう紅葉が映える。朝と昼とで紅葉が進むんだらうか。最良の紅葉日にこの山に登れるとはなんと幸運なことだろう。一期一会に感謝する。脳裏に紅葉をインプット。大満足のうちに下山した。



この山行を急遽企画いただいたリーダー、的確なサポート助言を下さった両 SL に感謝申し上げます。時・場所・人・気象、すべてが好条件の会心の山行となりましたことに重ねて感謝感謝。皆様のおかげです。またいつか、紅葉の季節にぜひとも再訪しましょう。

太田記